

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 年 月 日

アンケート回収率 32/40

事業所名: なでしこ

サービス種類: 放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員増により、部屋も3部屋増やし十分なスペースあり。	・外で遊ぶスペースもあるので、楽しんでいきます。 ・勉強する部屋と遊びの部屋、外遊びの広さもあり、十分に確保されていると思いました。 ・屋内外共に十分なスペースの確保がされています。	
	2 職員の適切な配置	定員増により、職員数も増やしている。加配も取っている。	・専門性の高いスタッフが多く配置されている。 (はい18 どちらともいえない3 いいえ0 わからない)	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	一日の予定や利用部屋などを提示している。必要児童には写真を使って流れを提示している。その他、送迎車や持ち物の置き場所なども写真や区切りを使って構造化している。	・学習の椅子が子供の体格に合っていない。 ・障害の特性に応じた設備が十分配慮されている。	子供の成長に合った机や椅子については今後検討していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	担当場所を決めての清掃や消毒を実施している。	・先生と子供達で掃除の時間に掃除をしているのを見たことがあります。 ・子供が活動しやすく、安全で心地よい環境が提供されていると思います。 (はい28 どちらともいえない2 いいえ0 わからない)	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	打ち合わせ時や会議時に問題点と不備な点を確認し、職員間での意見交換を行っている。		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	保護者へのアンケートの実施。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	必要に応じた研修などへの出席。		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	6ヶ月ごとにモニタリングの実施。家族との意見交換や児童からの意見も確認しながら支援計画を作成する。	・先生とのモニタリングで支援計画が作成されるのでこちら側の意見等も取り入れられている。 ・支援を受ける子供の意見を尊重し、支援計画に沿って活動の場や内容を提供してもらっている。	
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別支援と集団支援に分けて計画を作成している。	・ニーズと課題をしっかりと計画の中で展開され、作成されています。 (はい29 どちらともいえない2 いいえ0 わからない)	
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	より具体的な内容を取り入れた計画を作成している。	1)	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	ケース会議で検討しながら実施している。問題が大きい場合は、相談支援事業所や学校に相談し、機関連携会議などを実施している。	・適切な支援内容が設定されており計画を実践して頂いています。 ・計画に沿って支援して頂いています。 (はい7 どちらともいえない5 いいえ0 わからない0)	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	それぞれの担当者がプログラムの内容を立案し、会議で検討し実施している。	・コロナ禍では通常のように出来ないこともあると思っています。 ・どの習い事よりも楽しみに通っています。 ・毎日いろいろ話をしてくれます。 ・工夫されていて、色々経験しているので満足です。	
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	季節に合ったプログラムを取り入れたり、外出も取り入れながら支援している。	・曜日によっていろいろな活動がありました。 ・親の眼がない子供同士というのが気楽なのかなと思います。 ・親子で煮詰まってしまうのであずかったださうだけで感情をコントロールできます。	
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	活動内容は大まかな流れは1カ月単位で作成し、詳細内容は担当者がプログラムを実施する。	・行く日を楽しみにしています。 ・利用するたびに色々工夫をして頂いています。 (はい21 どちらともいえない11 いいえ0 わからない10)	
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝の打ち合わせでは、その日の予定や引継ぎ事項を確認し、午後から児童の来所前の打ち合わせで療育内容と引継ぎ事項、役割担当の確認をする。		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	当日の日誌の記入と次の日の朝の会で引継ぎ事項の共有と、問題点があれば検討する時間を持っている。		
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	引継ぎ事項や全体的な流れは日誌に記入し、個人の記録は各個人のケース記録に記入する。何かあれば翌日の朝の会で検討する。		
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6ヶ月以内に家族に来所してもらい支援計画の見直しを行う。また、ラインや電話を有効活用しながら随時支援について確認を行う。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	主任又はケース担当者が担当者会議へ出席する。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	こども園や相談支援事業所などと情報を共有している。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	今のところは該当児童がいないため実施していないが、今後の必要に応じて実施していく。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	関係者会議などを通じて情報を共有したり、アドバイスを受けている。	
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	実施できていない。	・障害のない子供との活動交流についてはコロナウイルス流行中実施できない状況にあるのではないかと思います。 (はい6 どちらともいえない2 いいえ4 わからない20)
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	事業所見学会の日程は決めていたが、コロナウイルス感染拡大のため実施できていない。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	日々の支援については連絡帳で伝えている。また、月1回利用時の支援内容や負担額については書面にて報告している。質問があればその都度対応している。	・支援内容の説明について分かりやすく計画に沿ってして頂きました。 (はい30 どちらともいえない1 いいえ0 わからない1)	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	モニタリングのため来所された時に説明を実施している。それ以外に質問があればその都度対応している。	・支援内容の説明について分かりやすく計画に沿ってして頂きました。 (はい32 どちらともいえない0 いいえ0 わからない0)	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者からの相談があれば、その都度対応している。	(はい13 どちらともいえない4 いいえ6 わからない9)	
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や送迎時、ラインなどを通して、日々の状況を伝えている。	・ノートやラインで。ラインは使いやすい。 ・連絡帳やラインでのやり取りでその日の様子や分からないことについて聞くことができている。 ・利用日の送迎の時や連絡ノートを通して子供の状況を伝えて頂いています。	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談があった場合は、その都度対応している。内容によっては職員間で話し合い、共通認識を持てるようにする。	・人によります。 (はい27 どちらともいえない1 いいえ0 わからない4)	全職員が同じように支援できるようにしていく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施していない。	・なくても良いと思っています。 (はい4 どちらともいえない0 いいえ12 わからない16)	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情相談窓口担当者を伝えている。苦情があった場合は、苦情受付書を作成し改善策考え、実施する。	・子供が噛まれた時には個別に対応はあったが、他の保護者に周知されているかはわからない。 ・対応についての説明があり、特に意見はありません。 (はい17 どちらともいえない1 いいえ0 わからない1)	苦情対応については、速やかに対応し、対応にばらつきがないように真摯に取り組んでいくようにする。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	絵や写真を使って示したり、マグネットプレートを利用するなどして構造化をすることで伝わるようにしている。	・ドライな方、親身になって下さる方いろいろです。 ・意思疎通、情報伝達に十分配慮されていると思います。 (はい27 どちらともいえない2 いいえ0 わからない3)	全職員が同じように支援できるようにしていく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	利用予約表と一緒に支援内容や行事等の予定を知らせている。	(はい12 どちらともいえない0 いいえ3 わからない17)	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報関係の書類は扉が付いた棚へ収納している。	(はい26 どちらともいえない0 いいえ0 わからない6)	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	作成している。	・非常時に等の対応については特に意見はありません。しっかりして頂いていると思います。 ・安心して活動できると思っています。 (はい21 どちらともいえない2 いいえ2 わからない7)	保護者への周知不足もあるので、周知できるようにしていく。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回実施している。	(はい10 どちらともいえない2 いいえ0 わからない20)	利用曜日によっては参加出来ない児童もいるので、災害発生時にどうするかということを伝えていくようにする。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	新聞やニュースなどで事件発表時は職員で話し、意識付けをしている。今後は研修にも出席検討。		
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	ケースなし。		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者に確認し、おやつや調理実習時に注意している。		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	作成している。対応策を職員間で話し合い、実施している。		